

施策名：循環を基調とする地域社会の構築

事業名	担当課・室名	ページ
3 R 普及推進事業	うつくし作戦推進課	1 / 6
産業廃棄物処理施設等監視指導事業	循環社会推進課	1 / 6
廃棄物不法投棄防止対策事業	循環社会推進課	1 / 6
産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業	循環社会推進課	2 / 6
県外産業廃棄物対策事業	循環社会推進課	2 / 6
産業廃棄物広報・啓発推進事業	循環社会推進課	2 / 6
P C B 廃棄物対策推進事業	循環社会推進課	3 / 6
森と海をつなぐ環境保全推進事業	循環社会推進課	3 / 6
海岸漂着物地域対策推進事業	循環社会推進課	3 / 6
循環社会構築加速化事業	循環社会推進課	4 / 6
プラスチックごみ削減推進事業	循環社会推進課	4 / 6
豊かな水環境保全推進事業	うつくし作戦推進課	4 / 6
大気環境監視推進事業	環境保全課	5 / 6
生活排水処理施設整備推進事業	公園・生活排水課	5 / 6
農業集落排水事業	公園・生活排水課	5 / 6
漁業集落排水事業	公園・生活排水課	6 / 6

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-4-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
1	3R普及推進事業 (H22～) うつくし作戦推進課 リデュース、リユース、リサイクルの3Rを通じた循環型社会の構築を推進するため、より多くの県民・事業者等にプラスチックごみの削減や、食品ロス削減等に取り組んでもらえるよう、積極的な周知・啓発及び協力依頼を効果的に実施する。	①食べきり推進キャンペーンの実施など食品ロス削減の推進 4,758 ②マイバッグキャンペーンの実施などレジ袋削減の推進 2,368 ③3R推進月間における啓発などプラスチックごみ対策の推進 725	マイバッグキャンペーン実施回数	目標値	10	10	10	レジ袋削減枚数(※) [万枚]	目標値	7,200	7,200	—	B
				実績値	11	6	—		実績値	7,755	7,030	—	
				[回]	達成率	110.0%	60.0%	—	達成率	107.7%	97.6%	—	
			エコバッグ作成・配布枚数	目標値	2,500	2,500	2,500	事業の成果・今後の方針 令和2年7月から全国でレジ袋が有料化されたことや、マイバッグ持参の街頭啓発等により、レジ袋の使用枚数を削減することができた。また、消費・賞味期限前食品の購入促進等により、消費者の食品ロス削減意識の醸成を図るとともに、県の食品ロス削減推進計画を策定した。今後も引き続き、消費者、事業者、行政等で連携協力し、マイバッグの持参率向上やプラスチックごみ対策、食品ロス削減を推進していく。 (※) 令和3年度の成果指標及び目標値 プラスチックごみ削減推進登録事業所数 320[事業所]					
				実績値	3,000	2,500	—						
				[枚]	達成率	120.0%	100.0%	—					
			レジ袋削減協議会開催回数	目標値	1	1	3						
	実績値	3	3	—									
	[回]	達成率	300.0%	300.0%	—								
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算	5,641	7,851	18,176										
決算	4,804	6,747	—										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
2	産業廃棄物処理施設等監視指導事業 (H20～) 循環社会推進課 産業廃棄物監視員によるパトロールや水質検査、スカイパトロールやドローンなどの上空からの監視、経営事項審査など産業廃棄物処理施設の監視指導を実施することにより、産業廃棄物の適正処理の徹底を図る。	①産業廃棄物監視員に要する経費 26,578 ②産業廃棄物に係る検査指導 10,450 ③ドローンを活用した産業廃棄物処理施設監視 1,640 ④最終処分場設置者経営実態監視に要する経費 996	産業廃棄物監視員監視件数	目標値	10,000	10,000	10,000	保管基準違反による県管轄産業処理施設火災防止率 [%]	目標値	100.0	100.0	100.0	A
				実績値	8,000	9,700	—		実績値	100.0	100.0	—	
				[件]	達成率	80.0%	97.0%	—	達成率	100.0%	100.0%	—	
			スカイパトロール件数	目標値	4	4	4	事業の成果・今後の方針 産業廃棄物監視員によるパトロール等により適正処理を推進した結果、県内の産業廃棄物処理施設における保管基準違反による火災は、昨年度に引き続き0件と目標を達成した。しかしながら、依然として不適正処理が原因と見られる水質悪化が発生していることから、今後もスカイパトロールやドローンなど上空からの監視を含め、より一層体制の強化に努める。					
				実績値	4	4	—						
				[件]	達成率	100.0%	100.0%	—					
			ドローンによる監視箇所数	目標値	10	10	10						
	実績値	18	18	—									
	[箇所]	達成率	180.0%	180.0%	—								
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算	39,860	43,127	50,167										
決算	36,397	40,785	—										

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
3	廃棄物不法投棄防止対策事業 (H17～) 循環社会推進課 不法投棄された廃棄物を撤去し、再発が懸念される箇所に不法投棄防止用フェンスや監視カメラを設置するとともに、市町村が実施する不法投棄対策事業に対する支援を実施することにより、全県的に不法投棄の再発防止を図る。	①不法投棄防止対策や産業廃棄物最終処分場行政代執行事業等を行う市町村に対する補助 35,780 ②産業廃棄物排出処分状況調査 16,677 ③不法投棄防止用フェンスの設置や不法投棄の監視及び撤去 14,975	不法投棄廃棄物撤去件数	目標値	12	12	12	フェンス設置箇所の不法投棄再発防止率 [%]	目標値	100.0	100.0	100.0	A
				実績値	23	14	—		実績値	100.0	100.0	—	
				[件]	達成率	191.7%	116.7%	—	達成率	100.0%	100.0%	—	
			不法投棄防止用フェンス設置箇所数	目標値	5	5	5	事業の成果・今後の方針 令和2年度は9箇所に不法投棄防止用フェンスの設置を行い、全ての箇所で不法投棄の再発を防止することができた。しかしながら、県内の不法投棄件数については、年度ごとに増減を繰り返す、大幅な増加こそないものの完全な減少傾向とは言えない状況であることから、引き続き不法投棄の未然防止に取り組む。					
				実績値	7	9	—						
				[箇所]	達成率	140.0%	180.0%	—					
			検問実施箇所	目標値	3	3	3						
	実績値	4	4	—									
	[箇所]	達成率	133.3%	133.3%	—								
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
予算	91,237	79,461	82,364										
決算	74,498	70,782	—										

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-4-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
4	産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業 (H18～) 循環社会推進課 市町村又は処理施設設置者が周辺住民の不安解消を目的として行う施設周辺の環境整備及び周辺住民の利便に供する施設を整備する場合、事業に要する経費の一部を助成する。	①産業廃棄物処理施設周辺環境対策事業費補助 70,863	事業実施箇所数	目標値	3	3	3	周辺住民の不安解消箇所数	目標値	3	3	3	A		
				実績値	9	8	—		実績値	9	8	—			
			[箇所]	達成率	300.0%	266.7%	—		[箇所]	達成率	300.0%	266.7%		—	
						目標値				事業の成果・今後の方針					
						実績値				令和2年度は8か所において周辺環境整備事業を実施し、産業廃棄物処理施設周辺住民の不安を解消することができた。今後も周辺住民の不安解消に資するため、引き続き事業を実施していく。					
						達成率				また、平成18年度より本事業を行っているが、事業開始から15年が経過し、通算の補助上限に近づいている施設が多くなってきており、施設が稼働していくうえで、舗装補修等の維持管理は必要であることから、状況に応じて要綱等の改正を検討していく。					
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
予算	59,969	70,863	73,613												
決算	57,834	69,376	—												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
5	県外産業廃棄物対策事業 (H18～) 循環社会推進課 県外から搬入される産業廃棄物の適正な処理を推進し、県民の生活環境の保全を図るため、不適正な廃棄物の搬入に対する対策を強化するとともに、市町村の県外産業廃棄物対策への補助を実施し、全県的に不適正な県外産業廃棄物の搬入防止を図る。	①環境保全協力基金の積立 157,777 ②県外産業廃棄物を受け入れる県内処理施設への調査 10,325 ③保健所設置市が実施する県外産業廃棄物に対する補助 6,000	県外排出事業者立入数	目標値	24	24	24	県外産廃搬入処分場排水の維持管理基準達成率	目標値	100.0	100.0	100.0	A		
				実績値	30	10	—		実績値	94.0	100.0	—			
			[事業所]	達成率	125.0%	41.7%	—		[%]	達成率	94.0%	100.0%		—	
						目標値	60	60	60	事業の成果・今後の方針					
						実績値	82	60	—	年々県外からの産業廃棄物搬入事前協議の件数が増加傾向にある中、目標値以上の立入検査を行うことで監視体制を強化し、排水の維持管理基準達成率は昨年度より向上した。					
						達成率	136.7%	100.0%	—	立入検査時において、県外から搬入される産業廃棄物の中に、有機物の付着や許可品目以外の廃棄物の混入が未だ散見されるため、今後も、監視指導を的確に実施し、不適正な県外産業廃棄物の搬入防止に努める。					
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
予算	178,881	177,759	166,328												
決算	174,488	175,452	—												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価		
6	産業廃棄物広報・啓発推進事業 (H23～R2) 循環社会推進課 マスメディアによる広報活動を通じて、産業廃棄物の不法投棄の防止、資源化・再生利用の促進、各種報告及びPCB廃棄物の早期処理等の必要性についての県民の理解を深める。	①広告媒体活用推進事業の実施 10,492 ②推進費 10	新聞掲載及びCM放送回数	目標値	10	10		循環社会推進課ホームページアクセス件数	目標値	5,000	5,500		A		
				実績値	8	8			実績値	13,607	16,437				
			[回]	達成率	80.0%	80.0%			[件]	達成率	272.1%	298.9%			
						目標値	2	2		事業の成果・今後の方針					
						実績値	2	2		令和2年度も引き続き、不法投棄やごみの不法焼却防止についてテレビCMや新聞による広報を行い、不法投棄防止の周知に努めた。また、PCB使用安定器に関する問い合わせ件数が増加し、早期調査・処理につながった。					
						達成率	100.0%	100.0%		令和3年度は効果的な事業を実施する観点から事業体系を整理し、当該事業は終了する。					
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
予算	12,863	10,502													
決算	12,863	10,501													

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-4-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
7	PCB廃棄物対策推進事業 (H13～) 循環社会推進課 ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物を、定められた期間までに適正に処理することを目的として、市町村や民間事業者等の建物・外灯に使用されたPCB使用安定器の掘り起こし調査等を行うとともに発見されたPCB使用安定器の適正処理に向けて立入調査を行う。	①PCB使用安定器の掘り起こし調査に要する経費 5,420 ②PCB廃棄物の未処理業者への指導 2,595	PCB保管事業所立入件数	目標値	30	30	30	PCB使用安定器調査進捗率	目標値	67.0	100.0	100.0	A
				実績値	63	64	—		実績値	75.0	100.0	—	
			[件]	達成率	210.0%	213.3%	—	[%]	達成率	111.9%	100.0%	—	事業の成果・今後の方針 通知文書によるPCB使用安定器掘り起こし調査に加え、民間委託による戸別訪問調査を実施したこと等により、PCB使用安定器の処理期限である令和2年度末までに調査進捗率は100%を達成することができた。 令和3年度は新たにPCB使用安定器が発見された場合、所有者へ早急に処理をするよう指導することにより、適正処理を推進する。
			PCB安定器保有不明事業者への通知文書発出件数	目標値	500	200	10	目標値					
				実績値	3,398	2,636	—	実績値					
			[件]	達成率	679.6%	1318.0%	—	達成率					
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値						
予算	6,823	8,019	9,225	実績値									
決算	3,966	4,250	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
8	森と海をつなぐ環境保全推進事業 (H18～) 循環社会推進課 漂着流木等の処理については、沿岸部住民の自発的な海岸清掃が必要であることはもちろん、内陸部住民の海岸の環境保全に対する意識向上が必要である。このため、自発的に行う流木等の撤去に必要な助成をするとともに、上流域住民への普及啓発活動に必要な費用を助成する。	①NPO、自治会等が行う海岸漂着物回収処理費用への補助 2,044	補助事業申請団体数	目標値	7	7	7	海岸清掃参加者数	目標値	2,280	2,280	2,280	D
				実績値	8	6	—		実績値	4,399	1,717	—	
			[団体]	達成率	114.3%	85.7%	—	[人]	達成率	192.9%	75.3%	—	事業の成果・今後の方針 新型コロナウイルス感染症の影響で、大半の団体が清掃活動を中止、又は、例年と比較し大幅に規模を縮小しており、海岸清掃参加者数は目標を下回った。 海岸保全は沿岸部住民による自発的な取組によるところが大きいが、海岸ごみの発生源になる内陸部住民にもごみ問題への認識を深めてもらい、ごみ等の投棄を行わないよう広報による啓発を進める。
			目標値				目標値						
			実績値				実績値						
			達成率				達成率						
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値						
予算	3,000	2,044	3,000	実績値									
決算	2,053	1,373	—	達成率									

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価
9	海岸漂着物地域対策推進事業 (H22～) 循環社会推進課 海岸の景観や環境を保全するため「大分県きれいな海岸づくり推進計画」に基づき、プラスチックや流木等をはじめとする海岸ごみの回収・処分を実施する。	①市町村等による海岸漂着物回収処理に対する補助 62,457 ②海岸漂着物の回収処理 35,000 ③地域計画策定に係る海岸漂着物実態調査 1,430	海岸清掃を実施した市町村数	目標値	12	12	12	定期的な清掃実施海岸数	目標値	5	6	7	A
				実績値	10	10	—		実績値	5	6	—	
			[市町村]	達成率	83.3%	83.3%	—	[箇所]	達成率	100.0%	100.0%	—	事業の成果・今後の方針 令和2年度は、44件の回収処理を実施し、海岸の景観や環境の保全を推進することができた。 海洋ごみ(人工ごみ)の8割は陸域由来であるが、沿岸域の住民以外には身近な問題として認識されていないため、今後は、内陸部の住民に対しても啓発を進めていく。 また、近年、災害が多発している中で一時的な回収・処理事業が増加しているが、一時的な回収処理のみならず、恒常的な海岸保全の取組も進めていく。
			目標値				目標値						
			実績値				実績値						
			達成率				達成率						
			区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値						
予算	88,996	108,850	159,288	実績値									
決算	87,144	89,087	—	達成率									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-4-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
10	循環社会構築加速化事業 (H29～) 循環社会推進課 焼却残さ等のセメント原料化をはじめとした資源循環の仕組みを構築し、廃棄物の減量化・再資源化率を向上させるとともに、市町村の災害廃棄物の処理能力強化を図る。また、モデル事業の成果を活用した資源化・再生利用の促進や中間処理業者等に向けたセミナーの開催などにより企業の意識改革を促し、循環産業の育成を図る。	①排出事業者講習会の実施 6,098 ②災害廃棄物処理における連携強化 1,344 ③3R研究開発等事業に対する補助 1,000	産廃業者養成セミナーの1回当たりの参加者数 [人]	目標値	60	60	60	最終処分場残余年数	目標値	29.0	28.0	27.9	B			
				実績値	70	59	—		実績値	28.0	27.9	—				
				達成率	116.7%	98.3%	—		達成率	96.6%	99.6%	—				
												事業の成果・今後の方針				
												令和2年度は産業廃棄物業界の労務管理についてのセミナーを開催し、県内企業の意識改革を図るとともに、モデル事業に採択された企業の成果発表を行うことにより、廃棄物の再資源化についての啓発を行った。				
												令和3年度は、事業者アンケートを基に廃棄物処理業のコンプライアンスについてセミナーを開催するとともに、引き続き、モデル事業に採択された企業の成果発表を行うことで県内企業の意識啓発、レベルアップを図っていく。				
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
	予算	12,301	10,066	21,558												
	決算	10,076	9,075	—												

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
11	プラスチックごみ削減推進事業 (R2～R2) 循環社会推進課 プラスチックごみ削減に向けた身近な行動を喚起するため、県民向け啓発イベントを開催するほか、海洋プラスチックごみ等に関する知識の普及に取り組む。	①普及啓発動画の作成 5,201 ②体験型イベントによる普及啓発 900 ③新聞広告 355	海岸ごみの回収量 [t]	目標値		1,500		おおいとうつくし海岸クリーンアップ作戦参加者数	目標値		20,000		D			
				実績値		2,214			実績値		10,414					
				達成率		147.6%			達成率		52.1%					
												事業の成果・今後の方針				
												令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していた啓発イベントが開催出来ず、目標値を達成できなかった。当初予定していたイベントに代わり、「大分海ごみ（プラごみ）問題を考える」啓発動画を作成し、収録したDVDを県内の全小中学校に配布を行う等により、県民の意識付けを図った。				
												なお、県内自治体や企業と連携し、より実効性のあるプラスチックごみ対策等を行うため、令和3年度からプラごみの分別回収や焼却灰の資源化を推進する「循環イノベーション創出事業」を実施する。				
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
	予算		7,905													
	決算		6,455													

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
12	豊かな水環境保全推進事業 (H29～) うつくし作戦推進課 豊かな水環境の保全活動を推進するため、モデル河川（筑後川、大分川、大野川、犬丸川）における地元住民の主体的な活動などを支援する。	①流域会議が行う河川保全活動への支援 1,181 ②川づくり大学の運営 646	流域会議が住民に対して行った啓発活動 [回]	目標値	5	5	5	水環境保全の啓発活動への参加者数	目標値	4,500	6,000	6,000	D			
				実績値	7	6	—		実績値	4,364	4,569	—				
				達成率	140.0%	120.0%	—		達成率	97.0%	76.2%	—				
												事業の成果・今後の方針				
												令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各地のイベント等を利用した啓発活動を十分に実施できなかったものの、大分川流域では地元の河川の魅力を再発見する行事等が実施されたほか、川づくり大学を動画配信で実施するなど、新たな取組も行った。				
												今後も引き続き、モデル河川における地元住民の活動の支援を行うとともに、河川環境を取り巻く変化に対応するため、里川づくり活動などへの支援と基盤整備を行う。				
	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度												
	予算	2,931	1,907	1,819												
	決算	1,935	1,736	—												

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-4-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
13	大気環境監視推進事業 (H25～) 環境保全課 微小粒子状物質(PM2.5)等の大気汚染物質に対する効果的な削減対策を講じるため、PM2.5の成分分析を行い、その結果を基に発生源に対する監視指導を実施する。	①PM2.5等の大気汚染物質の調査 2,168 ②県内2地点(由布、佐伯)におけるPM2.5の成分分析の実施 2,060	PM2.5の調査実施日数 [日]	目標値	112	112	112	PM2.5環境基準達成日率	目標値	97.3	99.1	99.2	A			
				実績値	112	112	—		実績値	99.7	—	—				
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	102.5%	—	—				
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針 令和2年度において、PM2.5成分分析を新たに佐伯市で実施した。併せて平成30・31年度の結果を基に、発生源となりうる工場等への監視指導を強化した。 今後は両地点における発生源の寄与等を解析し、発生源となりうる工場等への監視・指導を強化するなど効果的なPM2.5削減対策の検討を行う。 ※令和2年度実績は令和3年9月頃に確定するため、前年度実績で評価				
				予算	31,503	4,228	18,158	実績値								
				決算	27,032	4,168	—	達成率								

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
14	生活排水処理施設整備推進事業 (S59～) 公園・生活排水課 きれいな水環境を創造し、次の世代に引き継ぐため、市町村が実施する生活排水処理施設の整備等に対し助成するとともに、県内汚水処理事業の現状分析や課題整理を行い、広域化等について検討する。	①合併処理浄化槽転換促進のための補助 222,657 ②生活排水処理施設整備推進のための補助 93,849 ③県内汚水処理事業の広域化・共同化の検討 8,910	合併処理浄化槽転換促進事業の交付市町村数 [市町]	目標値	16	16	16	生活排水処理率	目標値	79.7	81.3	83.0	B			
				実績値	16	16	—		実績値	77.7	—	—				
				達成率	100.0%	100.0%	—		達成率	97.5%	—	—				
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値	14	14	13	事業の成果・今後の方針 令和元年度の生活排水処理率は77.7%で目標を概ね達成することができた。 今後も下水道全体計画区域のうち整備効率の悪い地区は合併処理浄化槽の整備を促進し、人口密集地等で下水道が未整備の地域は下水道を早急に整備するなど、生活排水処理施設整備を促進するため市町村を指導する。また、持続可能な下水道事業の運営を目指し、各市町村と連携した広域化・共同化計画の速やかな策定に努める。 国調査の公表時期が令和3年9月以降となるため、評価は令和元年度実績を採用。				
				予算	289,436	326,617	418,454	実績値	14	13	—					
				決算	273,065	300,882	—	達成率	100.0%	92.9%	—					

No.	事業名・事業概要・予算額	主な事業内容	活動指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価			
15	農業集落排水事業 (S59～) 公園・生活排水課 農業用排水路における水質保全、施設の機能維持及び農村の生活環境の改善を図る。併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿や生活雑排水等を処理する汚水処理施設の改築・維持管理を行う。	①汚水処理施設及び管路施設の改築・維持管理費の補助 29,650	農集補助金の交付市町村数 [市町]	目標値	7	9	10	生活排水処理率	目標値	79.7	81.3	83.0	B			
				実績値	7	6	—		実績値	77.7	—	—				
				達成率	100.0%	66.7%	—		達成率	97.5%	—	—				
				区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値				事業の成果・今後の方針 令和元年度の生活排水処理率は77.7%で目標を概ね達成することができた。 今後は経年劣化により、施設の機能保全対策が本格化することが予想される。供用開始から20年以上経過した施設が23施設あることから、最適整備構想で計画的かつ効率的に改築を実施していく。 国調査の公表時期が令和3年9月以降となるため、評価は令和元年度実績を採用。 (翌年度繰越額 3,500千円)				
				予算	32,495	29,650	66,500	実績値								
				決算	32,495	26,150	—	達成率								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和2年度実績【施策コード：I-4-(2)】

No.	事業名・事業概要・予算額				主な事業内容	活動指標	達成度			成果指標				評価				
							令和元年度	令和2年度	令和3年度	達成度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
16	漁業集落排水事業 (S59 ~) 公園・生活排水課 漁業集落の生活環境の改善と漁港・漁場の水域環境の保全・回復を図ることで、個性的で豊かな漁村の再生を支援し、水産業及び漁村の健全な発展に資するため、漁港漁村における排水処理施設の改築等を行う。				①汚水処理施設の改築費等の補助 29,500	漁集補助金の交付市町村数 [市町村]	目標値	1	5	1	生活排水処理率 [%]	目標値	79.7	81.3	83.0	B		
							実績値	1	3	—		実績値	77.7	—	—			
							達成率	100.0%	60.0%	—		達成率	97.5%	—	—			
														事業の成果・今後の方針				
														令和元年度の生活排水処理率は77.7%で目標を概ね達成することができた。				
														今後は経年劣化により、施設の機能保全対策が本格化することが予想される。供用開始から20年以上経過した施設が8施設あることから、機能保全計画で計画的かつ効率的に改築を実施していく。				
														国調査の公表時期が令和3年9月以降となるため、評価は令和元年度実績を採用。				
							区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度								
							予算	43,525	29,500	15,000								
							決算	6,661	29,500	—								